

スポーツ・運動の好みについて教えてください

問 1 : あなたは、自分の健康に自信がありますか。

- ・ 全体では、「自信がある」「どちらかといえば自信がある」と回答した人が53.4パーセントとなっています。
- ・ 年齢では、他の年代に比べて30歳代、70歳代以上の「自信がある」「どちらかといえば自信がある」の回答が少なくなっています。
- ・ 平成14年度に行った調査では、「自信がある」「どちらかといえば自信がある」人の割合が40歳代で最も少なく、今回の調査では70歳代以上の割合が大きく下がっています。
- ・ 性別では、男性のほうが、女性よりも健康に対して自信を持っています。

表 2 - 5 健康への自信（単数回答 有効回答数：616）

No.		平成21年度			平成14年度	
		件数(H21)	(全体)%	(除無)%	件数(H14)	(除無)%
1	自信がある	94	15.1%	15.3%	270	15.6%
2	どちらかといえば自信がある	235	37.8%	38.1%	648	37.6%
3	どちらでもない	154	24.8%	25.0%	415	24.1%
4	どちらかといえば自信がない	94	15.1%	15.3%	281	16.3%
5	自信がない	39	6.3%	6.3%	110	6.4%
	無回答	5	0.8%	—	11	—
サンプル数		621	100.0%	616	1,735	1,724

<参考（内閣府 平成21年度体力・スポーツに関する世論調査）>

問：体力の自信の有無

表 2 - 6 体力の自信の有無（単数回答 有効回答数1,925）

平成21年度	全体(%)	平成12年度	全体(%)
体力に自信がある	15.5%	大いに健康	25.9%
どちらかといえば自信がある	47.0%	まあ健康	58.0%
どちらかといえば不安がある	29.5%	あまり健康ではない	15.9%
体力に不安がある	7.9%	わからない	0.1%
わからない	0.2%	サンプル数	2,095
サンプル数	1,925		

図2-1 健康への自信と年齢とのクロス集計(有効回答数:616)

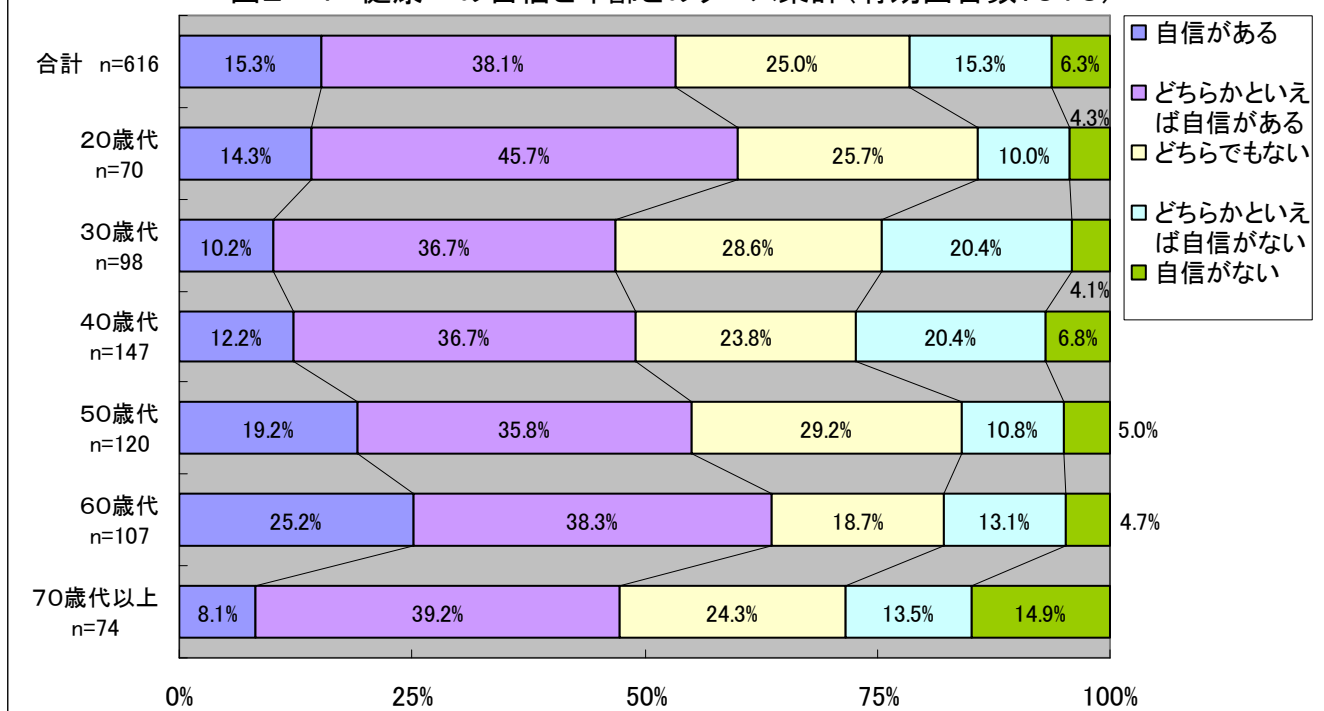
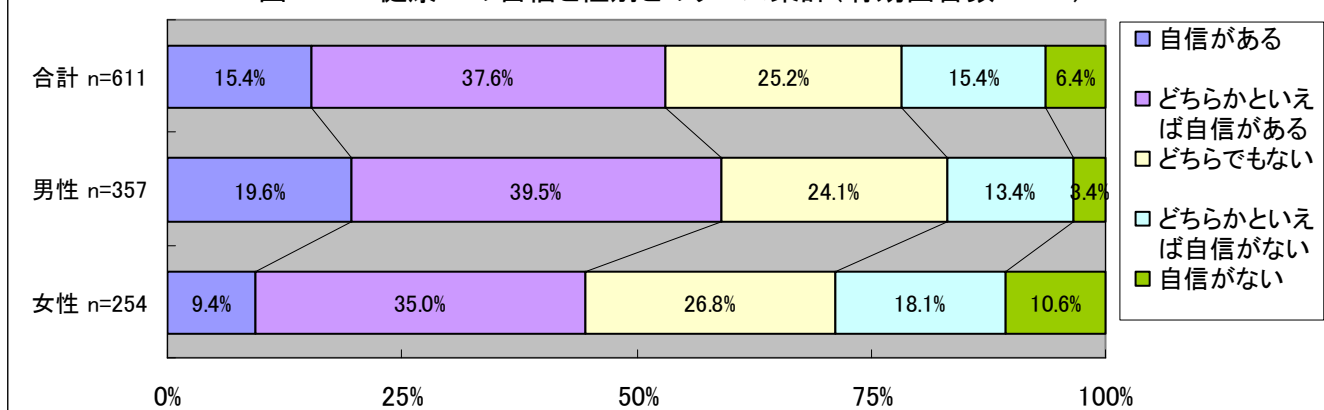


図2-2 健康への自信と性別とのクロス集計(有効回答数:611)



<考察>

年齢から見ると、30・70歳代以上で健康に「自信がある」とする人が少なくなっていますが、30歳代では仕事等によりスポーツ・運動をする時間的な余裕がないということも、要因の一つと考えられます。また、70歳代以上では加齢に伴って健康に「自信がある」とする人が少なくなっていることが伺えます。

性別では、女性が健康に不安を持っている傾向となっています。これも時間的余裕が無いなどの要因があると考えられます。

「内閣府 平成21年度体力・スポーツに関する世論調査」の結果と比較すると、安城市民は健康に「自信がある」(15.3パーセント)「どちらかといえば自信がある」(38.1パーセント)の割合が全国の「体力に自信がある」(15.5パーセント)「どちらかといえば自信がある」(47.0パーセント)と全国に比べて少なく、健康に対しやや不安を持っていると考えられます。

問2：あなたは、スポーツ・運動で自分が体を動かすことをどのように感じますか

- ・全体では、「好きである」「どちらかといえば好き」と回答した人が76.2パーセントとなっています。
- ・年齢に関わらず、「好きである」「どちらかといえば好き」との回答が多くなっています。
- ・性別では、男性のほうが、女性よりも「好きである」「どちらかといえば好き」と回答した割合が高くなっています。
- ・健康への自信（問1）からみると、健康に自信のある人ほど、「好きである」「どちらかといえば好き」と回答した人が多くなっています。

表2-7 スポーツの好嫌度（単数回答 有効回答数：615）

No.		平成21年度			平成14年度	
		件数(H21)	(全体)%	(除無)%	件数(H14)	(除無)%
1	好きである	283	45.6%	46.0%	883	51.0%
2	どちらかといえば好き	186	29.9%	30.2%	436	25.2%
3	どちらでもない	90	14.5%	14.6%	253	14.6%
4	どちらかといえば嫌い	41	6.6%	6.7%	116	6.7%
5	嫌いである	15	2.4%	2.5%	42	2.5%
	無回答	6	1.0%	—	5	—
	サンプル数(%ベース)	621	100.0%	615	1,735	1,730

図2-3 スポーツ・運動の好嫌度と年齢とのクロス集計(有効回答数:615)

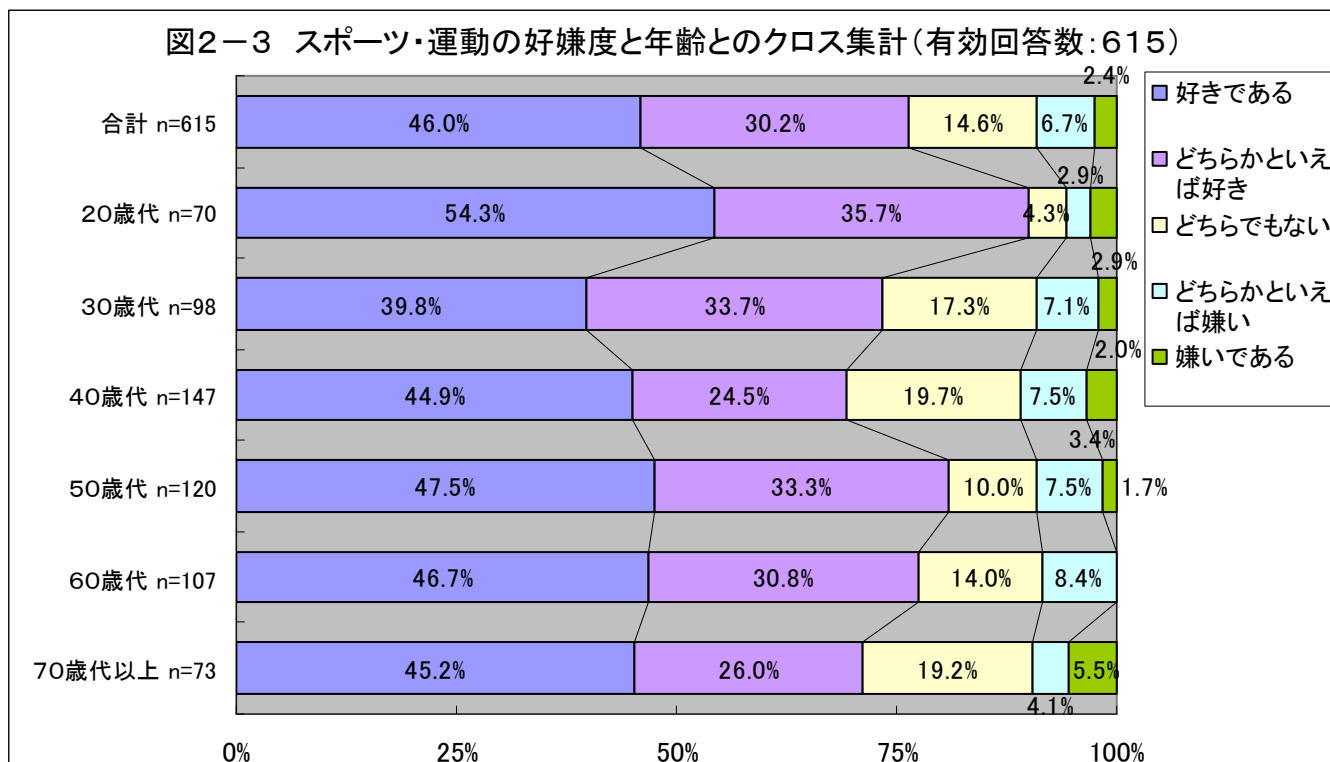


図2-4 スポーツ・運動への好嫌度と性別とのクロス集計(有効回答数:615)

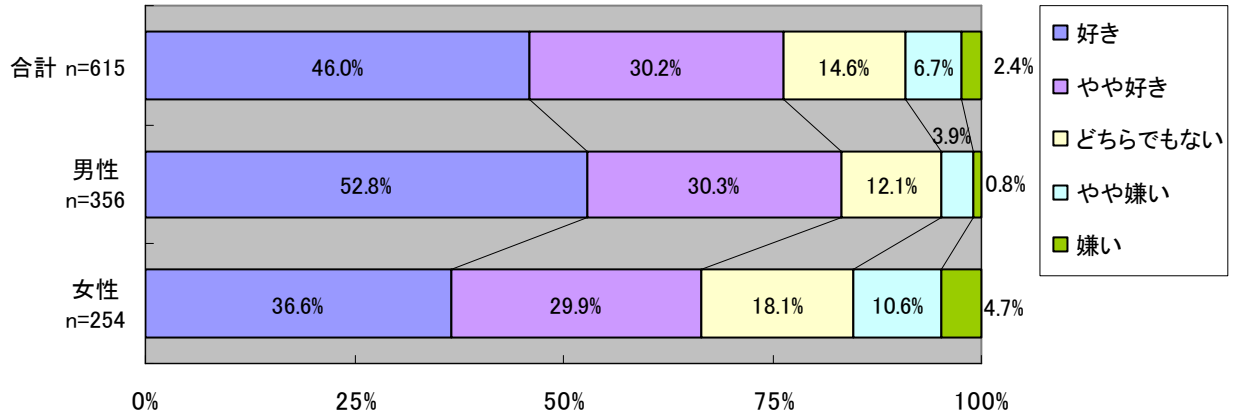
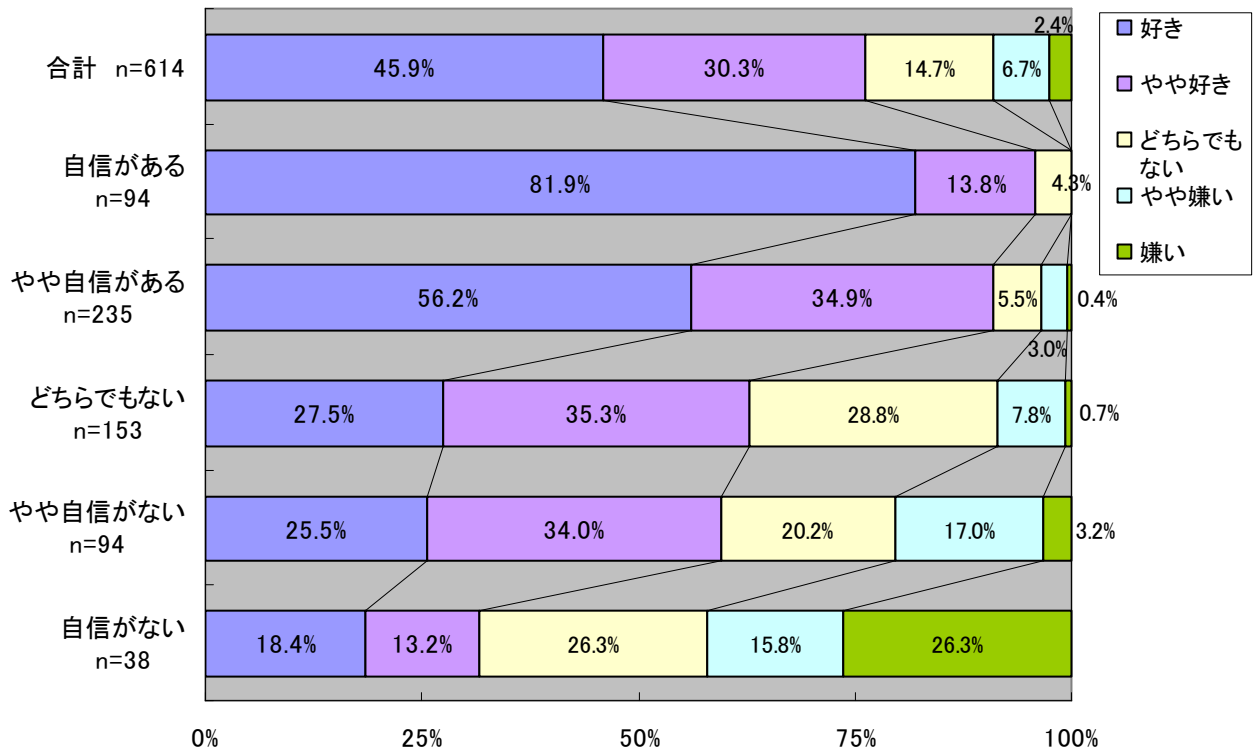


図2-5 スポーツ・運動への好嫌度と自信のクロス集計(有効回答数:614)



<考察>

年齢からみると、40歳代と70歳代以上が「好きである」「どちらかといえば好き」とした人が少なくなっています。40歳代では問1の「健康への自信」の回答にあるようにスポーツ・運動をする時間的な余裕が無いということが要因の1つと考えられます。一方、70歳代以上では健康への自信がないことと関連していると考えられます。

性別からみると、時間的な余裕が少ない女性のほうが「好きである」「どちらかといえば好き」とした人の割合が少なくなっています。

健康に自信がない人は、「嫌いである」との回答が多く、スポーツ・運動で体を動かすことへの好嫌度と健康への自信には関連が見受けられます。

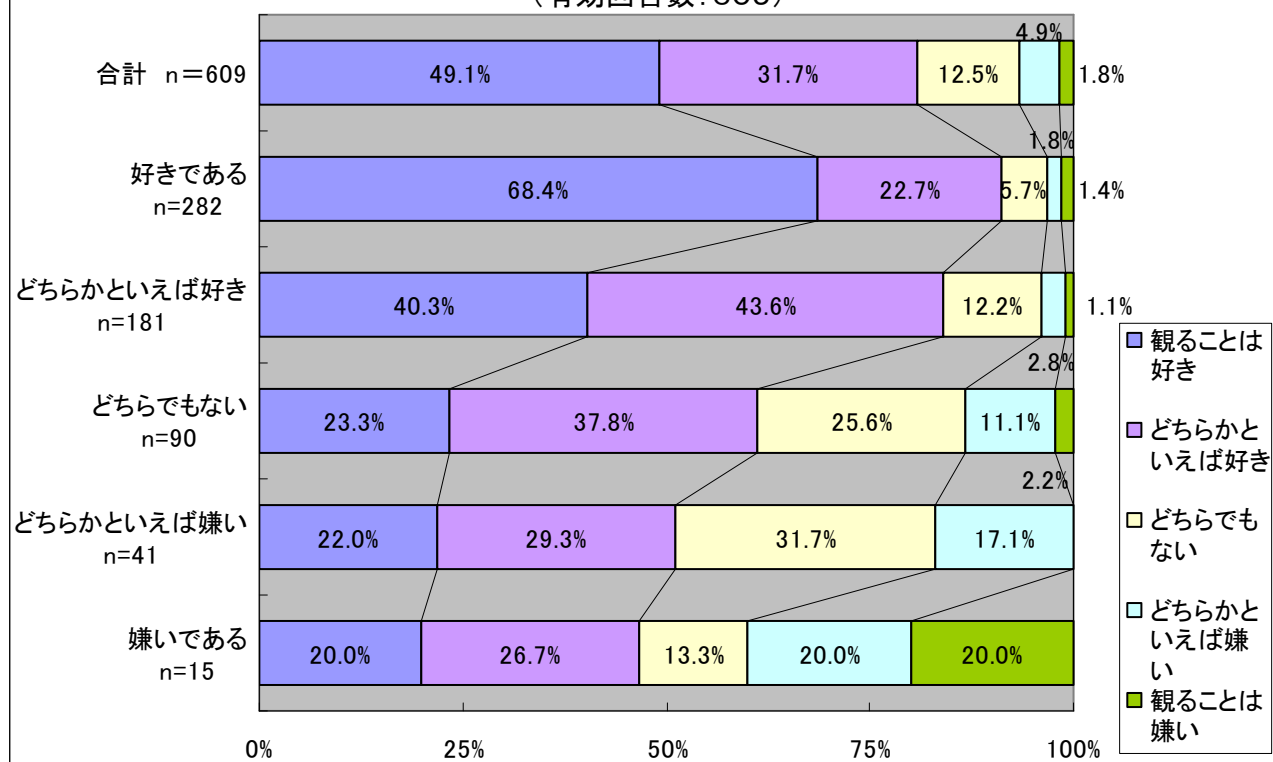
問3：あなたは、テレビや競技場でスポーツを観ることをどのように感じますか。

- ・全体では「観ることは好き」「どちらかといえば好き」と回答した人が80.7パーセントとなっています。
- ・スポーツ・運動の好嫌度（問2）からみると、スポーツ・運動が好きな人ほど「観ることは好き」「どちらかといえば好き」と回答する割合が多くなっています。またスポーツ・運動で体を動かすことは「嫌いである」とした人でも、20パーセントが「観ることは好き」と回答しています。

表2-8 スポーツ観戦（単数回答 有効回答数：611）

No.		平成21年度			平成14年度	
		件数(H21)	(全体)%	(除無)%	件数(H14)	(除無)%
1	観ることは好き	300	48.3%	49.1%	897	51.8%
2	どちらかといえば好き	193	31.1%	31.6%	493	28.5%
3	どちらでもない	76	12.2%	12.4%	250	14.5%
4	どちらかといえば嫌い	30	4.8%	4.9%	61	3.5%
5	観ることは嫌い	12	1.9%	2.0%	30	1.7%
	無回答	10	1.6%	—	4	—
サンプル数(%ベース)		621	100.0%	611	1,735	1,731

図2-6 スポーツ観戦の好嫌度とスポーツ・運動への好嫌度のクロス集計（有効回答数：609）



<考察>

スポーツ・運動の好嫌度（問2）からみるとスポーツ・運動で体を動かすことが「嫌いである」と回答した人の20パーセントが、「観ることは好き」と回答しており、スポーツ・運動が嫌いであっても、必ずしもスポーツ観戦が嫌いであることにはつながらないことが伺えます。

あなたのスポーツ・運動の実施状況について教えてください

問4：あなたは、普段どのくらいスポーツ・運動をしていますか。

- ・全体では、61.5パーセントの人が「週に1～2日」以上スポーツ・運動をしていると回答しています。
- ・年齢からみると、20～40歳代、特に30歳代の頻度が低くなっています。
- ・性別では、男性のほうがスポーツ・運動をする頻度が高くなっています。
- ・スポーツ・運動の好嫌度（問2）からみると、スポーツ・運動が好きな人ほどスポーツ・運動をする頻度が高くなっています。一方、スポーツ・運動で体を動かすことが「嫌いである」とした人では、100パーセントが日常的にスポーツ・運動をしていないと回答しています。

表2-9 スポーツ・運動をする頻度（単数回答 有効回答数：614）

No.		平成21年度			平成14年度	
		件数(H21)	(全体)%	(除無)%	件数(H14)	(除無)%
1	週に5日以上	59	9.5%	9.6%	85	4.9%
2	週に3～4日	115	18.5%	18.7%	188	10.9%
3	週に1～2日	204	32.9%	33.2%	473	27.5%
4	月に1～2日程度	89	14.3%	14.5%	347	20.2%
5	1ヶ月に1日より少ない	147	23.7%	23.9%	628	36.5%
	無回答	7	1.1%	—	14	—
	サンプル数(%ベース)	621	100.0%	614	1,735	1,721

<参考（内閣府 平成21年度体力・スポーツに関する世論調査）>

問：この1年間に行った運動・スポーツの日数

**表2-10 この1年間に行った運動・スポーツの日数
（単数回答 有効回答数1,416）**

	平成21年度 全体(%)	平成12年度 全体(%)
週に3日以上	30.2%	26.8%
週に1～2日	28.1%	27.9%
月に1～2日	23.4%	24.4%
3ヶ月に1～2日	10.7%	10.9%
年に1～3日	7.3%	9.1%
わからない	0.3%	0.8%
サンプル数	1,496	1,424

図2-7 スポーツ・運動をする頻度と年齢のクロス集計(有効回答数:614)

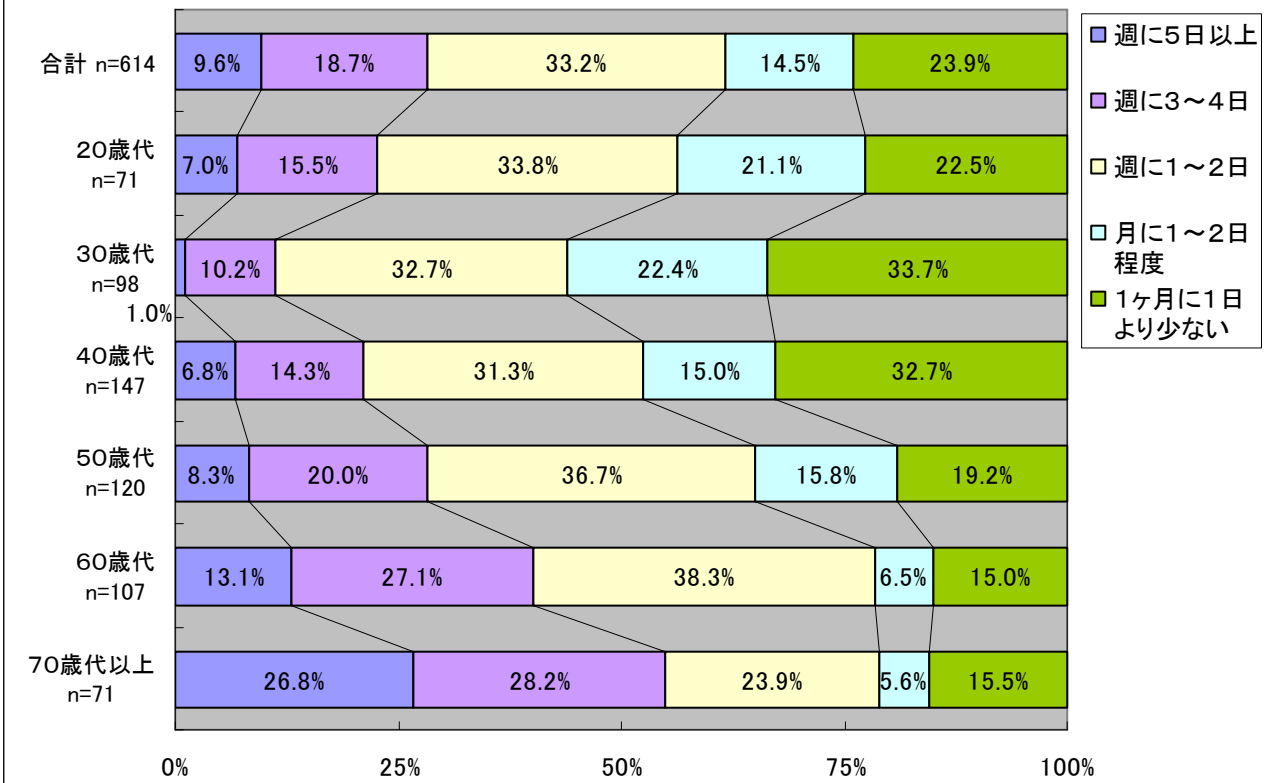


図2-8 スポーツ・運動をする頻度と性別とのクロス集計(有効回答数:609)

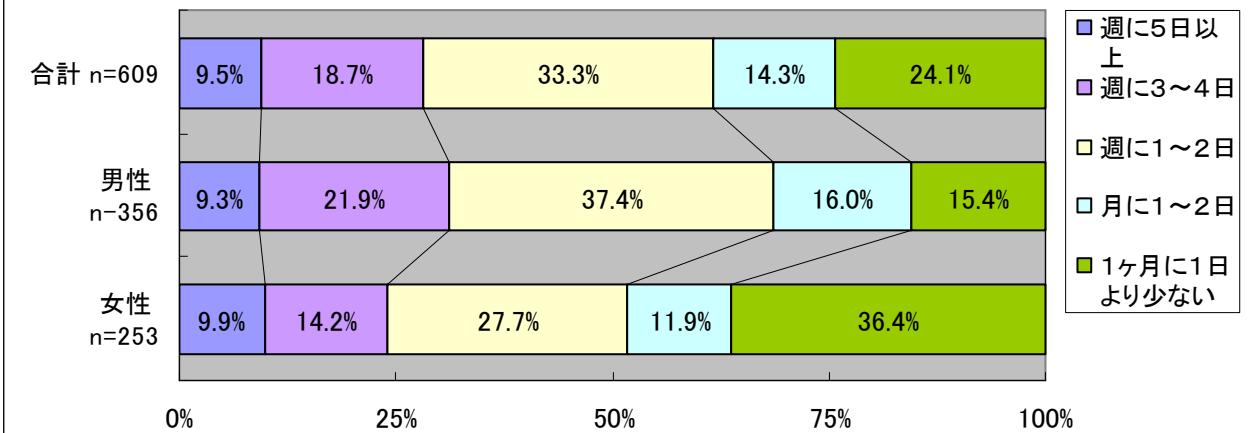
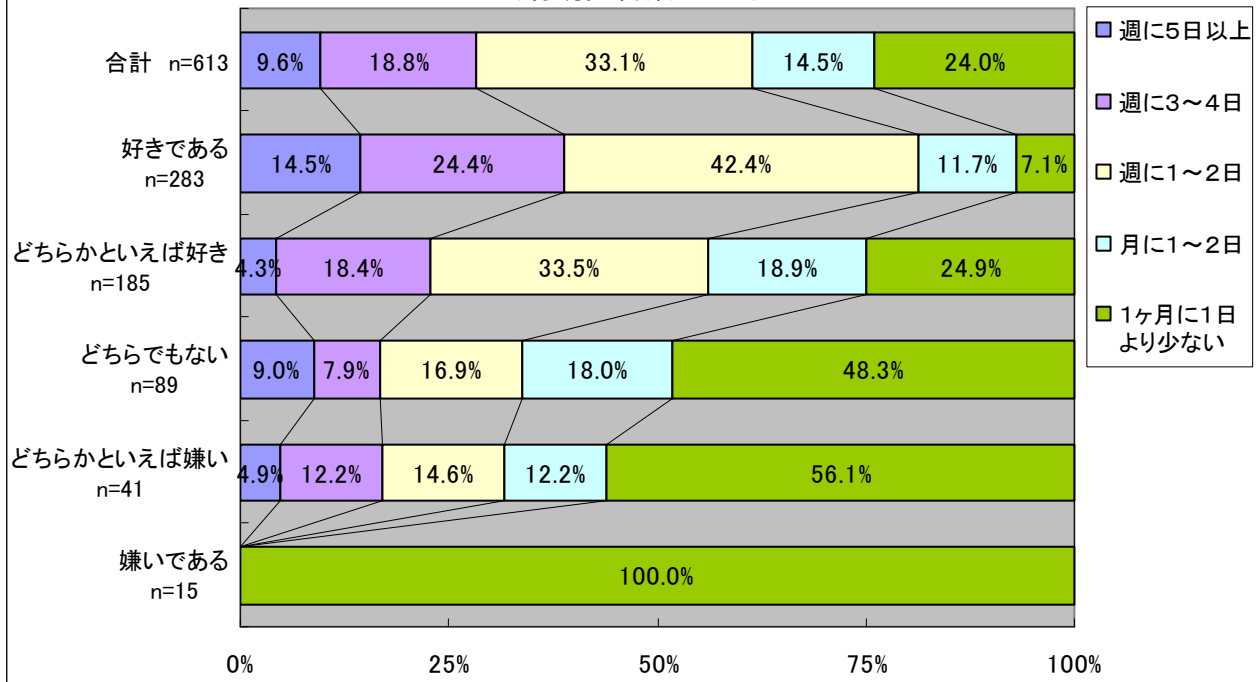


図2-9 スポーツ・運動をする頻度とスポーツ・運動への好嫌度とのクロス集計
(有効回答数:613)



<考察>

年齢からみると、特に30歳代の頻度が低くなっており、健康への自信(問1)、スポーツ・運動の好嫌度(問2)と同様、時間的な余裕が無いことが要因の一つと考えられます。

(図2-8) スポーツ・運動の好嫌度からみると、スポーツ・運動で体を動かすことが好きな人ほど日常的にスポーツ・運動を行っており、嫌いな人ほど日常的には行っていないということが言えます。

スポーツ・運動が好きな人ほど日常生活の中で、スポーツ・運動が出来る機会や環境づくりを自ら整えているということが伺えます。

「内閣府 平成21年度体力・スポーツに関する世論調査」の結果の「スポーツ・運動の日数」が「週に3日以上」「週に1~2日」の合計58.3パーセントと比較すると、安城市の場合は「週に5日以上」「週に3~4日」「週に1~2日」の合計で61.5パーセントとなっており、全国調査の結果と比べ安城市の方がややスポーツ・運動に対する意識が高いことが伺えます。

なお、平成14年度に実施した同様の調査では、安城市民の成人週1回スポーツ実施率が43.3パーセントであるのに対して、今回の調査結果では61.5パーセントと上昇していますが、これは質問表現を「スポーツ」から「スポーツ・運動」に変更したことで、多種範囲にわたる「運動」「レクリエーション的」などの回答が多かったことが、大きく影響したものと思われます。

問5：問4でスポーツ・運動を「週に5日以上」から「月に1～2回程度」するを選んだ方にお尋ねします。あなたは、普段どこでスポーツ・運動をしていますか。以下の中からいくつでも選んでください。

- ・全体では、「市内の公共施設」が38.4パーセントと最も多くなっています。
- ・年齢からみると60・70歳代以上は「自宅の近所の道路や空き地など」が、20～50歳代では「市内の公共施設」が最も多くなっています。
- ・性別による差は見られませんが、男性では「市外の施設」「公園や広場」と回答した割合が、女性に比べて多く、女性では「自宅」と回答した割合が男性に比べ多いことが読み取れます。
- ・居住地の別では、安祥中学区以外で「市内の公共施設」が最も多くなっています。

表2-11 スポーツ・運動をする場所（複数回答 有効回答者数：465）

No.		平成21年度			平成14年度	
		件数(H21)	(全体)%	(除無)%	件数(H14)	(除無)%
1	自宅	83	17.7%	17.8%	124	11.4%
2	自宅の近所の道路や空き地など	128	27.4%	27.5%	193	17.7%
3	公園や広場	88	18.8%	18.9%	234	21.5%
4	学校の施設	96	20.5%	20.6%	294	27.0%
5	市内の公共施設	179	38.3%	38.4%	511	46.9%
6	市内の民間施設	61	13.0%	13.1%	187	17.2%
7	市外の公共施設	42	8.9%	9.0%	143	13.1%
8	市外の民間施設	32	6.8%	6.8%	106	9.7%
9	職場にあるスポーツ施設	25	5.3%	5.3%	77	7.1%
10	その他	24	5.1%	5.1%	74	6.8%
	無回答	2	0.4%	—	4	—
	サンプル数(%ベース)	467	100.0%	465	1,093	1,089

※サンプル数と無回答は人数、全体と除無の欄は件数で集計しており、パーセンテージはサンプル数を100%とした場合の件数の割合です。複数回答可能な設問のため、全体、除無ともに割合の合計は100%になりません。（以下、複数回答の集計表は同様の表記とします）

図 2-10 スポーツ・運動をする場所と年齢とのクロス集計（有効回答者数：473）

問5 スポーツ・運動する場所	自宅	道路や近所など	公園や広場	学校の施設	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の公共施設	市外の民間施設	職場にあるスポーツ施設	その他	回答者数
年齢											
20歳代	14 25.0%	13 23.2%	5 8.9%	14 25.0%	17 30.4%	8 14.3%	7 12.5%	5 8.9%	8 14.3%	1 1.8%	56
30歳代	12 18.2%	11 16.7%	12 18.2%	13 19.7%	21 31.8%	5 7.6%	14 21.2%	5 7.6%	2 3.0%	5 7.6%	66
40歳代	17 16.7%	22 21.6%	21 20.6%	22 21.6%	48 47.1%	19 18.6%	9 8.8%	8 7.8%	7 6.9%	6 5.9%	102
50歳代	18 18.2%	25 25.3%	14 14.1%	25 25.3%	42 42.4%	17 17.2%	6 6.1%	9 9.1%	6 6.1%	4 4.0%	99
60歳代	12 13.2%	34 37.4%	16 17.6%	20 22.0%	31 34.1%	8 8.8%	5 5.5%	5 5.5%	2 2.2%	5 5.5%	91
70歳以上	10 16.9%	23 39.0%	20 33.9%	2 3.4%	20 33.9%	4 6.8%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.1%	59
全年齢総数	83 17.5%	128 27.1%	88 18.6%	96 20.3%	179 37.8%	61 12.9%	42 8.9%	32 6.8%	25 5.3%	24 5.1%	473

図 2-11 スポーツ・運動をする場所と性別とのクロス集計（有効回答者数：468）

問5 スポーツ・運動する場所	自宅	道路や近所など	公園や広場	学校の施設	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の公共施設	市外の民間施設	職場にあるスポーツ施設	その他	回答者数
性別											
男性	41 13.6%	80 26.5%	63 20.9%	61 20.2%	106 35.1%	37 12.3%	34 11.3%	24 7.9%	20 6.6%	21 7.0%	302
女性	35 21.1%	45 27.1%	21 12.7%	32 19.3%	70 42.2%	23 13.9%	7 4.2%	7 4.2%	5 3.0%	12 7.2%	166
総数	76 16.2%	125 26.7%	84 17.9%	93 19.9%	176 37.6%	60 12.8%	41 8.8%	31 6.6%	25 5.3%	33 7.1%	468

図2-12 スポーツ・運動をする場所と居住地とのクロス集計（有効回答者数：473人）

問5 スポーツ・運動する場所	自宅	きのき の自 地 道 宅 な 路 の 近 所 や 空 所	公園 や 広 場	学 校 の 施 設	施 市 設 内 の 公 共	施 市 設 内 の 民 間	施 市 設 外 の 公 共	施 市 設 外 の 民 間	設 ス 職 ポ 場 に ツ あ る 施 場	そ の 他	回 答 者 数
安城南中学区	10 13.5%	17 23.0%	12 16.2%	21 28.4%	27 36.5%	12 16.2%	11 14.9%	8 10.8%	3 4.1%	2 2.7%	74
安城北中学区	16 17.2%	27 29.0%	14 15.1%	15 16.1%	35 37.6%	13 14.0%	2 2.2%	4 4.3%	4 4.3%	4 4.3%	93
明祥中学区	7 17.9%	16 17.2%	5 12.8%	10 25.6%	16 41.0%	3 7.7%	3 7.7%	4 10.3%	1 2.6%	2 5.1%	39
安城西中学区	5 11.1%	11 24.4%	11 24.4%	8 17.8%	18 40.0%	5 11.1%	3 6.7%	6 13.3%	1 2.2%	4 8.9%	45
桜井中学区	12 22.2%	14 25.9%	10 18.5%	11 20.4%	19 35.2%	10 18.5%	3 5.6%	2 3.7%	5 9.3%	2 3.7%	54
東山中学区	8 14.3%	17 30.4%	15 26.8%	6 10.7%	22 39.3%	5 8.9%	5 8.9%	2 3.6%	2 3.6%	7 12.5%	56
安祥中学区	5 14.7%	12 35.3%	8 23.5%	5 14.7%	10 29.4%	4 11.8%	1 2.9%	2 5.9%	2 5.9%	2 5.9%	34
篠目中学区	10 20.8%	8 16.7%	8 16.7%	10 20.8%	24 50.0%	4 8.3%	2 4.2%	2 4.2%	6 12.5%	8 16.7%	48
その他	5 16.7%	5 16.7%	3 10.0%	9 30.0%	8 26.7%	5 16.7%	11 36.7%	2 6.7%	1 3.3%	2 6.7%	30
全年齢総数	78 16.5%	127 26.8%	86 18.2%	95 20.1%	179 37.8%	61 12.9%	41 8.7%	32 6.8%	25 5.3%	33 7.0%	473

＜考察＞

年齢からみると20・30歳代で、市外の施設を利用する割合が高く、また60・70歳代以上は「市内の公共施設」より「自宅の近所の道路や空き地」などを利用する割合が高いことから、行動できる範囲の広さもスポーツ・運動をする場所を決める理由の一つと考えられます。

居住地の別からみると、平成14年度の調査時に比べ「自宅」「自宅の近所の道路や空き地など」が増え、「市内の公共施設」が減少しています。これは、今回から調査内容の表現に「運動」「レクリエーション」を含めたことによるものと、比較的近くで行動するようになってきたことの2つが考えられます。

問6 問4で、スポーツ・運動を「週に5日以上」から「月に1～2回程度」するを選んだ方にお尋ねします。あなたが、現在行っているスポーツ・運動はなんですか。以下の空欄に3つまで記入してください。

- ・全体では、「ウォーキング」が最も多く、ついで「ジョギング・ランニング」「ゴルフ」が多くなっています。
- ・年齢からみると、70歳代以上では「ウォーキング」に加え、「グラウンドゴルフ」「健康体操」の割合が高くなっています。
- ・性別からみると、男性では「ウォーキング」「ジョギング・ランニング」「ゴルフ」の順、女性は「ウォーキング」「健康体操」「ジョギング・ウォーキング」になっています。

表2-12 現在行っているスポーツ・運動（複数回答 有効回答者数：434）

	平成21年度			平成14年度	
	件数(H21)	(全体)%	(除無)%	件数(H14)	(除無)%
ウォーキング(H21は散歩等含む)	131	28.0%	30.1%	166	16.1%
ジョギング・ランニング	64	13.7%	14.7%	85	8.2%
ゴルフ	51	10.9%	11.7%	131	12.7%
ソフトボール	34	7.2%	7.8%	128	12.4%
テニス(H21は硬式・軟式含む)	28	5.9%	6.4%	152	14.7%
野球	27	5.7%	6.2%	78	7.6%
サッカー(H21はフットサル含む)	24	5.1%	5.5%	57	5.5%
グラウンドゴルフ	24	5.1%	5.5%	53	5.1%
健康体操(H21はストレッチなど含む)	23	4.9%	5.2%	53	5.1%
バドミントン	21	4.4%	4.8%	82	8.0%
バレーボール	19	4.0%	4.3%	70	6.8%
バスケットボール	17	3.6%	3.9%	34	3.3%
卓球(ラージボール卓球含む)	17	3.6%	3.9%	53	5.1%
武道	16	3.4%	3.6%	20	1.9%
水泳(H21は水中歩行など含む)	15	3.2%	3.4%	125	12.1%
エアロビクス	11	2.3%	2.5%	35	3.4%
スキー・スノーボード	8	1.7%	1.8%	48	4.7%
ゲートボール	8	1.7%	1.8%	33	3.2%
その他	185	39.6%	42.6%	322	31.2%
無回答	33	7.0%	—	62	—
サンプル数(%ベース)	467	100%	434	1,093	1,031

○その他のスポーツ・運動

3B体操	スポーツジム	ボウリング
Wii Fit	ソフトバレーボール	マラソン
アクアビクス	太極拳	ミニテニス
インディアカ	体操	野球の審判
エアロバイク	ダンス	ヨガ
筋カトレーニング	登山	ラグビー
クラシックバレエ	ドッジボール	ラクロス
腰まわしダイエット	バランスボール	ラジオ体操
子どもとの遊び	ハンドボール	ホッケー
サーキットトレーニング	フォークダンス	陸上競技
サーフィン	Jポップダンス	ルームバイク
サイクリング	フットベースボール	ルームランナー
サルサ	フラダンス	練功十八法
自転車	フラメンコ	ロデオボーイ
詩舞	ブルブルマシーン	犬の散歩

図2-13 現在行っているスポーツ・運動と年齢のクロス集計

(複数回答 有効回答数：434)

問6 現在行っている種目	ウオーキング(含む)	テニス(H21は硬式・軟式)	ゴルフ	ソフトボール	水泳(H21は水中歩行など)	ジョギング・ランニング	バドミントン	野球	バレーボール	サッカー(H21はフットサル含む)	グラウンドゴルフ	卓球(含む)	卓球(H21はラージボール)	健康体操(H21はラジオ体操ストレッツチ等含む)	スキー・スノーボード	エアロビクス	ゲートボール	バスケットボール	武道	その他	回答者数
20歳代	8 16.0%	4 8.0%	1 2.0%	2 4.0%	2 4.0%	12 24.0%	2 4.0%	4 8.0%	2 4.0%	8 16.0%	0 0.0%	2 4.0%	2 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 12.0%	1 2.0%	27 54.0%	50
30歳代	10 15.9%	6 9.5%	7 11.1%	4 6.3%	1 1.6%	10 15.9%	1 1.6%	9 14.3%	5 7.9%	7 11.1%	0 0.0%	1 1.6%	0 0.0%	1 1.6%	3 4.8%	0 0.0%	5 7.9%	0 0.0%	25 39.7%	63	
40歳代	19 19.8%	9 9.4%	11 11.5%	6 6.3%	4 4.2%	15 15.6%	1 1.0%	4 4.2%	5 5.2%	7 7.3%	0 0.0%	3 3.1%	6 6.3%	4 4.2%	4 4.2%	0 0.0%	4 4.2%	5 5.2%	49 51.0%	96	
50歳代	34 38.6%	7 8.0%	15 17.0%	12 13.6%	4 4.5%	11 12.5%	12 13.6%	6 6.8%	4 4.5%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%	6 6.8%	3 3.4%	4 4.5%	0 0.0%	2 2.3%	5 5.7%	37 42.0%	88	
60歳代	35 42.2%	2 2.4%	13 15.7%	6 7.2%	3 3.6%	15 18.1%	5 6.0%	3 3.6%	2 2.4%	1 1.2%	7 8.4%	5 6.0%	3 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	5 6.0%	0 0.0%	4 4.8%	30 36.1%	83	
70歳以上	25 46.3%	0 0.0%	4 7.4%	4 7.4%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	17 31.5%	5 9.3%	10 18.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.6%	0 0.0%	1 1.9%	11 20.4%	54	
総数	131 30.2%	28 6.5%	51 11.8%	34 7.8%	15 3.5%	64 14.7%	21 4.8%	27 6.2%	19 4.4%	24 5.5%	24 5.5%	17 3.9%	27 6.2%	8 1.8%	11 2.5%	8 1.8%	17 3.9%	16 3.7%	179 41.2%	434	

図2-14 現在行っているスポーツ・運動と性別とのクロス集計（有効回答数：429）

問6 現在行っている種目	ウォーキング（H21は散歩含む）	テニス（H21は硬式・軟式含む）	ゴルフ	ソフトボール	水泳（H21は水中歩行など含む）	ジョギング・ランニング	バドミントン	野球	バレーボール	サッカー（H21はフットサル含む）	グラウンドゴルフ	卓球（H21はラージボール卓球含む）	健康体操（H21はラジオ体操・ストレッチ等含む）	スキー・スノーボード	エアロビクス	ゲートボール	バスケットボール	武道	その他	回答者数
男性	76 27.4%	15 5.4%	45 16.2%	31 11.2%	13 4.7%	48 17.3%	15 5.4%	26 9.4%	6 2.2%	23 8.3%	16 5.8%	12 4.3%	6 2.2%	8 2.9%	0 0.0%	6 2.2%	13 4.7%	14 5.1%	93 33.6%	277
女性	53 34.9%	13 8.6%	4 2.6%	1 0.7%	2 1.3%	15 9.9%	6 3.9%	0 0.0%	13 8.6%	1 0.7%	8 5.3%	5 3.3%	21 13.8%	0 0.0%	11 7.2%	2 1.3%	4 2.6%	2 1.3%	93 61.2%	152
総数	129 30.1%	28 6.5%	49 11.4%	32 7.5%	15 3.5%	63 14.7%	21 4.9%	26 6.1%	19 4.4%	24 5.6%	24 5.6%	17 4.0%	27 6.3%	8 1.9%	11 2.6%	8 1.9%	17 4.0%	16 3.7%	186 43.4%	429

<考察>

年齢からみると、全年代で競技の勝敗や技術の向上等のためよりも、健康づくり・体力づくりのためにスポーツ・運動に取り組んでいる人が多いことが伺えます。

50歳代以上では「ウォーキング」が最も多く、さらに70歳代以上の年代で「グラウンドゴルフ」「健康体操」が多くなっているのが目立ちますが、20～40歳代では種目が分散しており、スポーツ・運動の好みの多様化が見受けられます。

性別からみると、男女とも人気のある「ウォーキング」に続くのは男性が「ゴルフ」「ソフトボール」「ジョギング・ランニング」、女性は「健康体操」に人気があり、その他に分類される種目も多く、ここからも種目が分散していることが読み取れます。

また、人気のある種目を見ると、比較的近場で手軽に行える種目が上位を占めていることが伺えます。

問7：問4で、スポーツ・運動を「週に5日以上」から「月に1～2回程度」するを選んだ方にお尋ねします。あなたが、今、スポーツ・運動を行っているのはどのような理由からですか。以下の中から3つまで選んでください。

- ・全体では、「健康を保持・増進するため」が最も多く、次いで、スポーツ・運動が「好き・楽しい」「ストレス解消のため」の順となっています。
- ・年齢では、30～70歳代で、「健康を保持・増進するため」との回答が多くなっています。スポーツ・運動が「好き・楽しい」との回答は、20歳代で多くなっています。
- ・性別からみると、男性ではスポーツ・運動が「好き・楽しい」との回答が女性に比べて多く、女性では「ダイエットのため」「ストレス解消のため」との回答が男性

表2-13 スポーツ・運動を行っている理由（複数回答 有効回答者数453）

No.		平成21年度			平成14年度	
		件数(H21)	(全体)%	(除無)%	件数(H14)	(除無)%
1	健康を保持・増進するため	314	67.6%	69.3%	721	68.7%
2	ダイエットのため	98	21.1%	21.6%	178	17.0%
3	友達づくり・交友のため	117	25.2%	25.8%	370	35.2%
4	スポーツが好き・楽しい	203	43.7%	44.8%	582	55.4%
5	ストレス解消のため	118	25.4%	26.0%	383	35.2%
6	体力・筋力を向上させるため	107	23.0%	23.6%	197	18.8%
7	病気や怪我のリハビリのため	13	2.8%	2.8%	26	2.5%
8	競技で記録に挑戦するため	11	2.3%	2.4%	19	1.8%
9	競技での勝ち負けを競うため	22	4.7%	4.8%	73	7.0%
10	その他	17	3.6%	3.7%	69	6.6%
	無回答	11	2.3%	—	43	—
	サンプル数(%ベース)	464	100.0%	453	1,093	1,050

<参考（内閣府 平成21年度体力・スポーツに関する世論調査）>

問：運動・スポーツを行った理由

表2-14 運動・スポーツを行った理由（複数回答 有効回答数：1,496）

	平成21年度 全体(%)	平成12年度 全体(%)
健康・体力づくりのため	53.7%	55.0%
楽しみ、気晴らしとして	50.3%	56.9%
運動不足を感じるから	42.0%	39.7%
精神の修養や訓練のため	4.0%	3.9%
自己の記録や能力を向上させるため	4.7%	2.9%
家族の触れ合いとして	17.0%	13.5%
友人・仲間との交流として	33.8%	38.0%
美容や肥満解消のため	14.9%	11.7%
その他	1.9%	2.5%
わからない	0.4%	0.5%
サンプル数(複数回答)	1,496	1,424

図2-15 スポーツ・運動をする理由と年齢のクロス集計（有効回答者数：453）

問7 スポーツ・運動をする理由	増進健康するを保持ため・	たダイエットの	交友達のづためり・	きスポーツ・楽しいが好	のすためレス解消	め向体力さ・筋力たを	めリ病ハ気や怪の我たの	挑戦技する記録に	け競技の勝たちめ負	その他	回答者数
年齢											
20歳代	25 48.1%	13 25.0%	8 15.4%	31 59.6%	17 32.7%	13 25.0%	1 1.9%	1 1.9%	8 15.4%	5 9.6%	52
30歳代	33 51.6%	19 29.7%	15 23.4%	31 48.4%	22 34.4%	16 25.0%	0 0.0%	2 3.1%	4 6.3%	3 4.7%	64
40歳代	62 62.6%	25 25.3%	17 17.2%	49 49.5%	25 25.3%	26 26.3%	1 1.0%	3 3.0%	4 4.0%	8 8.1%	99
50歳代	75 78.9%	18 18.9%	33 34.7%	44 46.3%	27 28.4%	22 23.2%	0 0.0%	1 1.1%	2 2.1%	2 2.1%	95
60歳代	72 84.7%	21 24.7%	23 27.1%	31 36.5%	14 16.5%	18 21.2%	8 9.4%	3 3.5%	4 4.7%	0 0.0%	85
70歳以上	47 81.0%	2 3.4%	21 36.2%	17 29.3%	13 22.4%	12 20.7%	3 5.2%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	58
全年齢総数	314 69.3%	98 21.6%	117 25.8%	203 44.8%	118 26.0%	107 23.6%	13 2.9%	11 2.4%	22 4.9%	18 4.0%	453

図2-16 スポーツ・運動を行う理由と性別とのクロス集計（有効回答者数：448）

問7 スポーツ・運動をする理由	増進健康するを保持ため・	たダイエットの	交友達のづためり・	きスポーツ・楽しいが好	のすためレス解消	め向体力さ・筋力たを	めリ病ハ気や怪の我たの	挑戦技する記録に	け競技の勝たちめ負	その他	回答者数
性別											
男性	193 67.0%	53 18.4%	77 26.7%	144 50.0%	68 23.6%	67 23.3%	7 2.4%	9 3.1%	17 5.9%	10 3.5%	288
女性	118 73.8%	44 27.5%	39 24.4%	58 36.3%	49 30.6%	38 23.8%	6 3.8%	1 0.6%	5 3.1%	8 5.0%	160
合計	311 69.4%	97 21.7%	116 25.9%	202 45.1%	117 26.1%	105 23.4%	13 2.9%	10 2.2%	22 4.9%	18 4.0%	448

<考察>

全体的にみると、競技志向を理由に挙げる人は少なく、スポーツ・運動を楽しんだり、健康づくりの手段としてスポーツ・運動を行っている人が多くなっています。

年齢からみると、30～70歳代以上で「健康を保持・増進するため」、スポーツ・運動が「好き・楽しい」「友達づくり・交友のため」の回答が多くなっており、年齢が上がるにつれて、健康づくりや交友のためにスポーツ・運動を行っている人が多いことが伺えます。

性別では、男性がスポーツ・運動が「好き・楽しい」とした人が多い反面、女性では「ストレス解消」「健康を保持・増進するため」「ダイエットのため」等の回答が男性を上回っており、趣味と実益を併せ持ってスポーツ・運動を行っていることも伺えます。

「内閣府 平成21年度体力・スポーツに関する世論調査」の結果と比較すると、安城市民ではスポーツ・運動を行う理由として健康づくりを挙げる人が全国調査よりも多くなっており、スポーツ・運動を健康づくりの手段として捉えている市民が多いことが伺えます。

問8：問4でスポーツ・運動を「週に5日以上」から「月に1～2回程度」するを選んだ方にお尋ねします。あなたは、スポーツクラブやチーム等の団体、一緒に運動するグループに所属していますか。

- ・スポーツ団体に所属している人は、全体の57.2パーセントとなっています。
- ・年齢からみると年齢が高いほど所属している割合が高くなっています。
- ・性別では、男性の方がスポーツ団体に所属している割合が高くなっています。
- ・居住地の別からみると、安城北・安祥中学区での所属割合が他の中学区よりも低くなっています。
- ・スポーツ・運動をする頻度からみると、「週に1～2日程度」の割合が最も多くなっています。

表2-15 スポーツ団体への所属（単数回答 有効回答数：458）

No.		平成21年度			平成14年度	
		件数(H21)	(全体)%	(除無)%	件数(H14)	(除無)%
1	所属している	262	42.2%	57.2%	541	52.1%
2	所属していない	196	31.6%	42.8%	497	47.9%
3	無回答	163	26.2%	—	55	—
サンプル数(%ベース)		621	100.0%	458	1,093	1,038

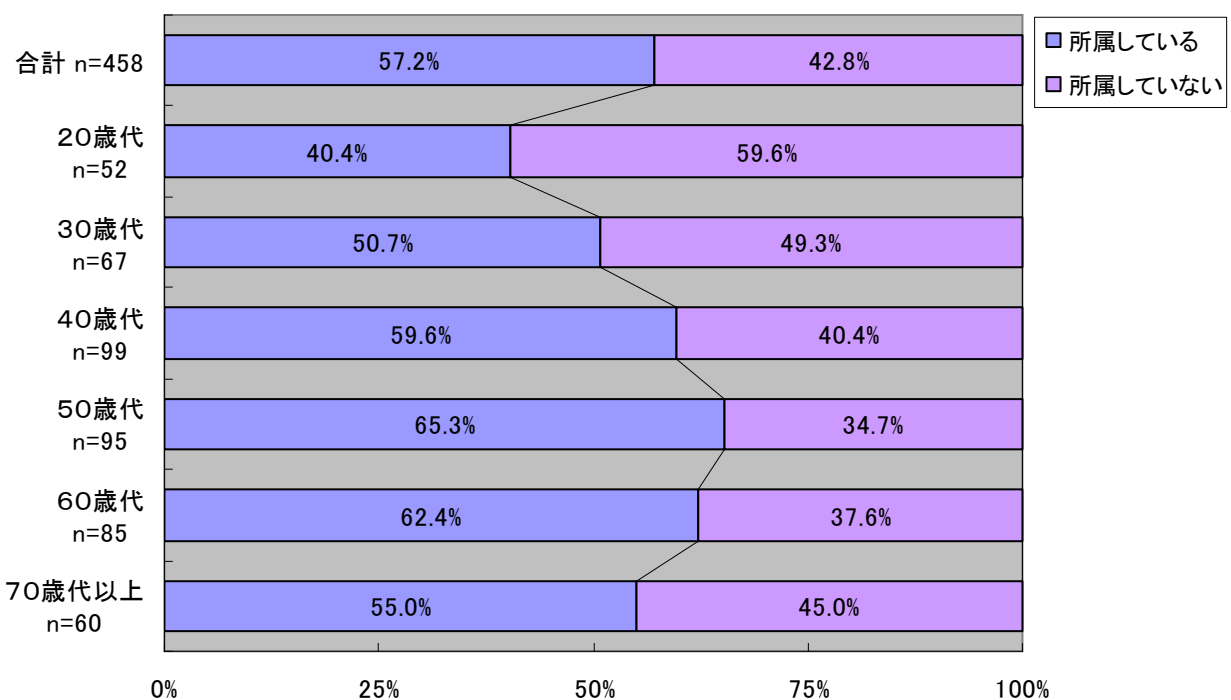
<参考（平成21年度体力・スポーツに関する世論調査）>

問：クラブ・同好会への加入状況・今後の加入意向

表2-14 運動・スポーツを行った理由（複数回答 有効回答数：1,925）

平成21年度	全体(%)	平成12年度	全体(%)
既に参加している	16.2%	参加している	15.8%
参加したいと思う	38.3%	参加していない	84.2%
参加したいとは思わない	44.3%	サンプル数	2,095
わからない	1.2%		
サンプル数	1,925		

図2-17 スポーツ団体への所属と年齢とのクロス集計（有効回答数：458）



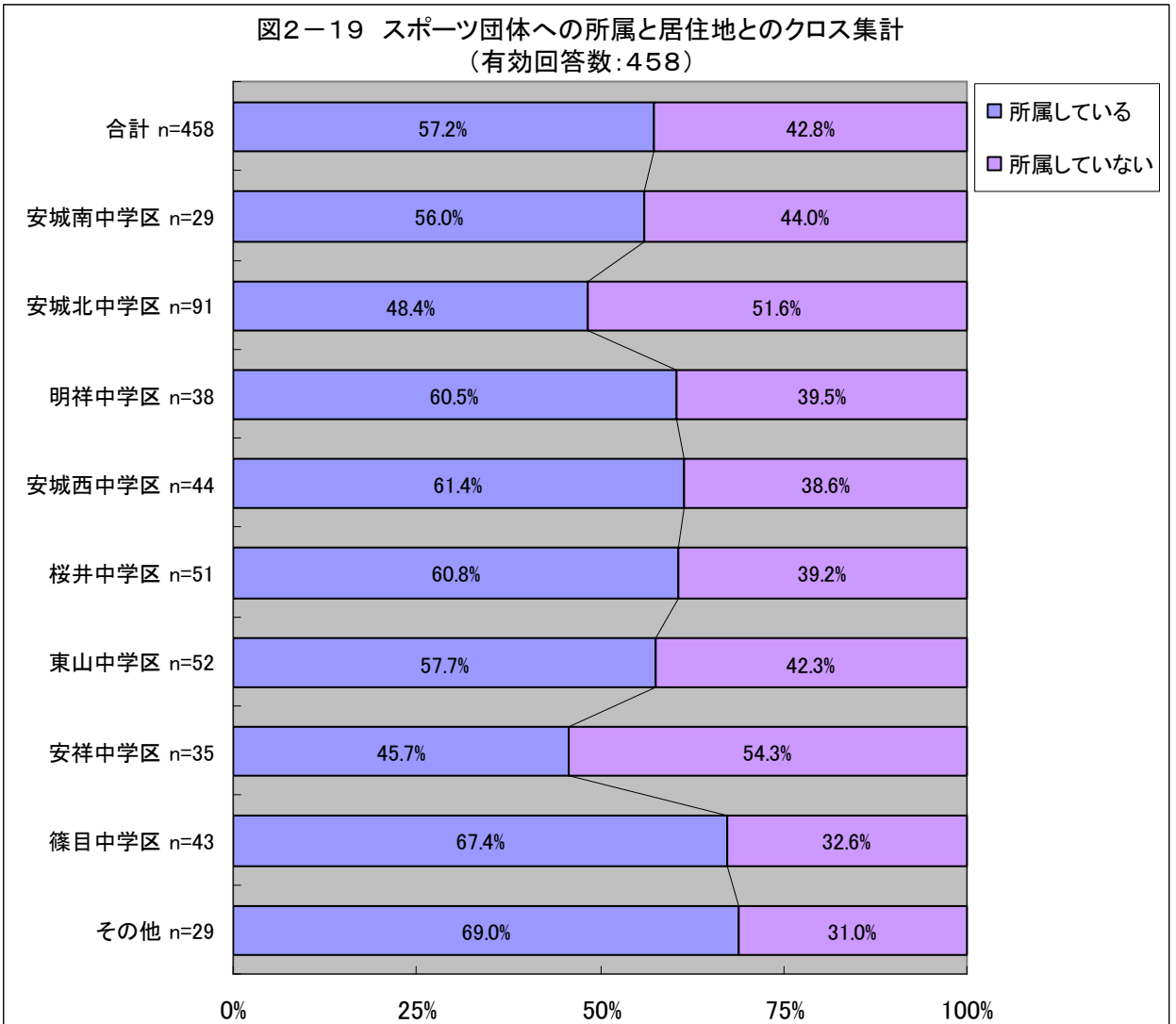
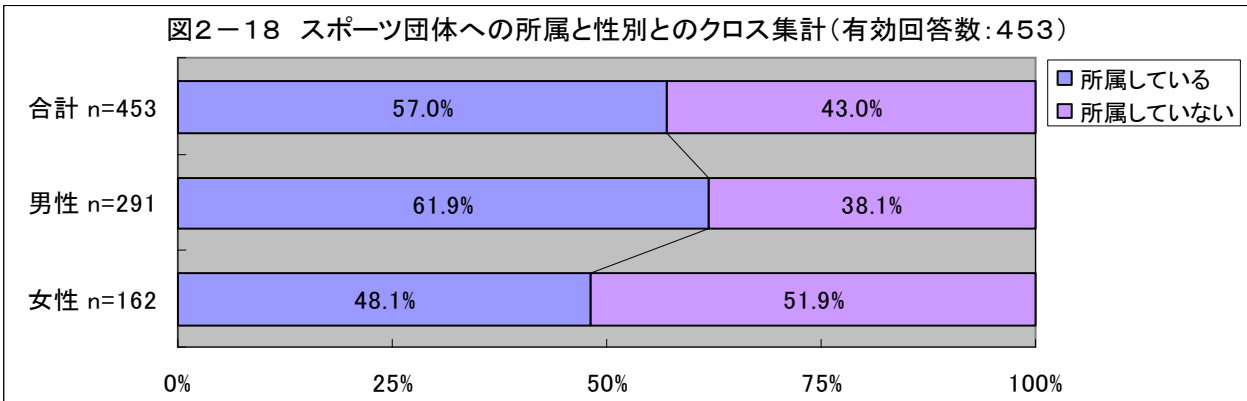
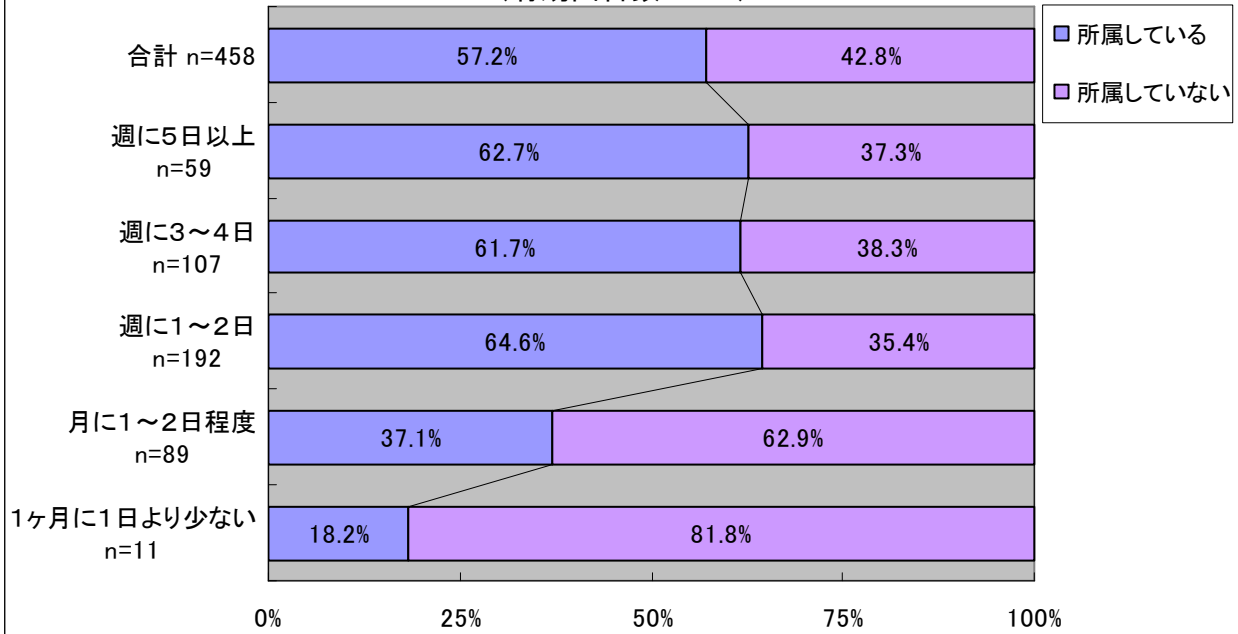


図2-20 スポーツ団体への所属とスポーツ・運動をする頻度とのクロス集計
(有効回答数:458)



<考察>

年齢からみると、50歳代で団体への所属割合が最も高くなっています。

週1日以上スポーツ・運動をする人の約6割は何らかの団体に所属しており、定期的にスポーツ・運動を行う環境が確保されていると考えられます。

「内閣府 平成21年度体力・スポーツに関する世論調査」の結果と比較すると、安城市民ではスポーツ団体に所属していると回答した人の割合が57.2パーセントと全国調査の16.2パーセントに比べかなり多くなっており、スポーツ団体等に所属し、積極的に活動している人が多いことが伺えます。

ただし、安城市の調査の場合では、団体所属者に一定の枠を設けて調査依頼をしており、これらの回答率が高いため、必ずしも全国平均に比べて所属割合が高いとは言い切れないところがあります。

問9：あなたが、スポーツ施設を利用する際の交通手段を教えてください。

- ・全体では、「自動車」が74.1パーセントと最も多く、次いで「自転車」「徒歩」の順になっています。
- ・居住地からみると、安城北中学区の「自動車」の割合が低くなっています。

表2-15 スポーツ施設を利用する際の交通手段（単数回答 有効回答数：563）

No.		件数(H21)	(全体)%	(除無)%
1	徒歩	53	8.5%	9.4%
2	自転車	69	11.1%	12.3%
3	自動車	417	67.2%	74.1%
4	公共交通機関	13	2.1%	2.3%
5	その他	11	1.8%	1.9%
	無回答	58	9.3%	—
サンプル数(%ベース)		621	100.0%	563

図2-21 居住地と交通手段のクロス集計(有効回答数:559)

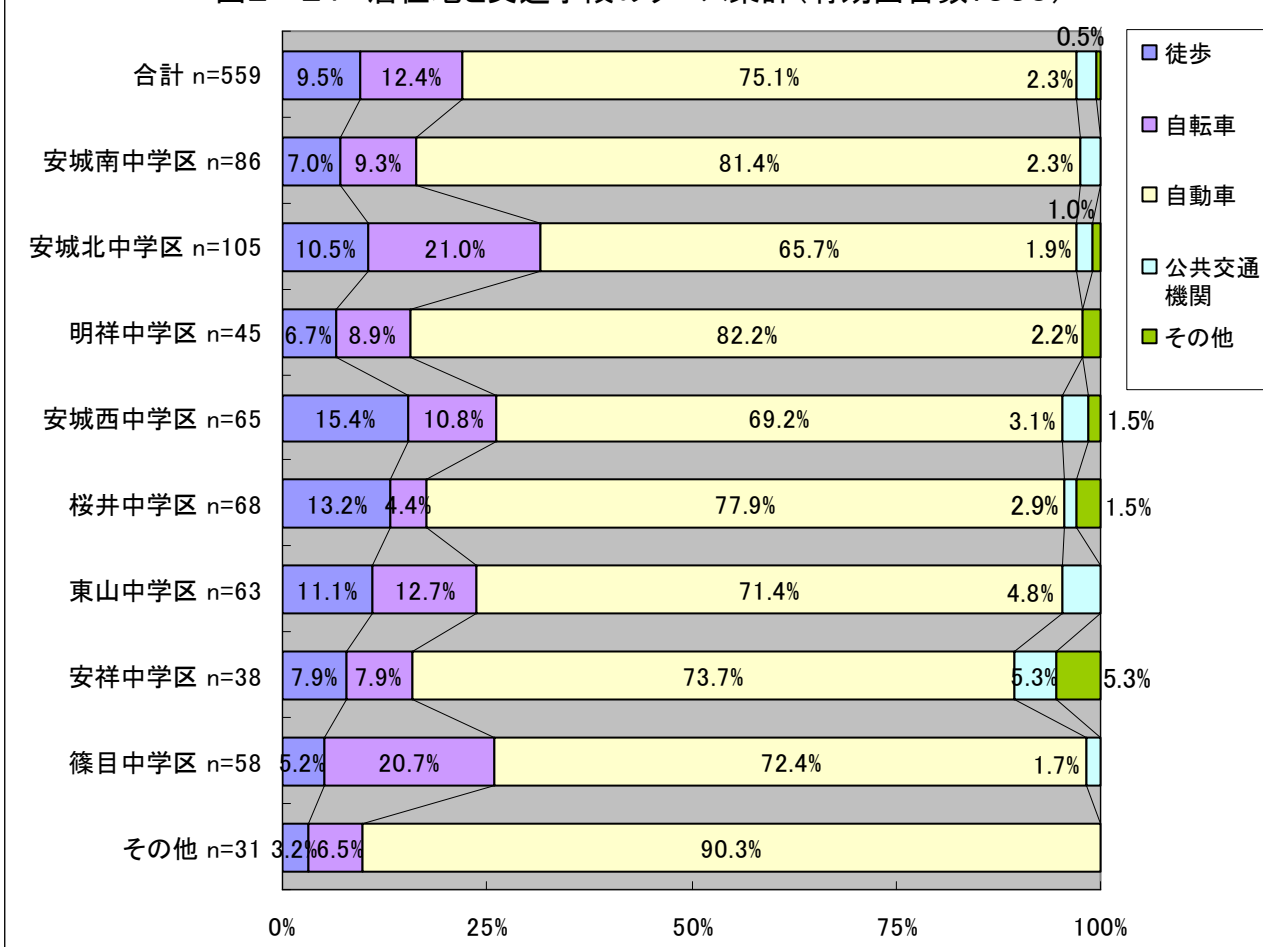
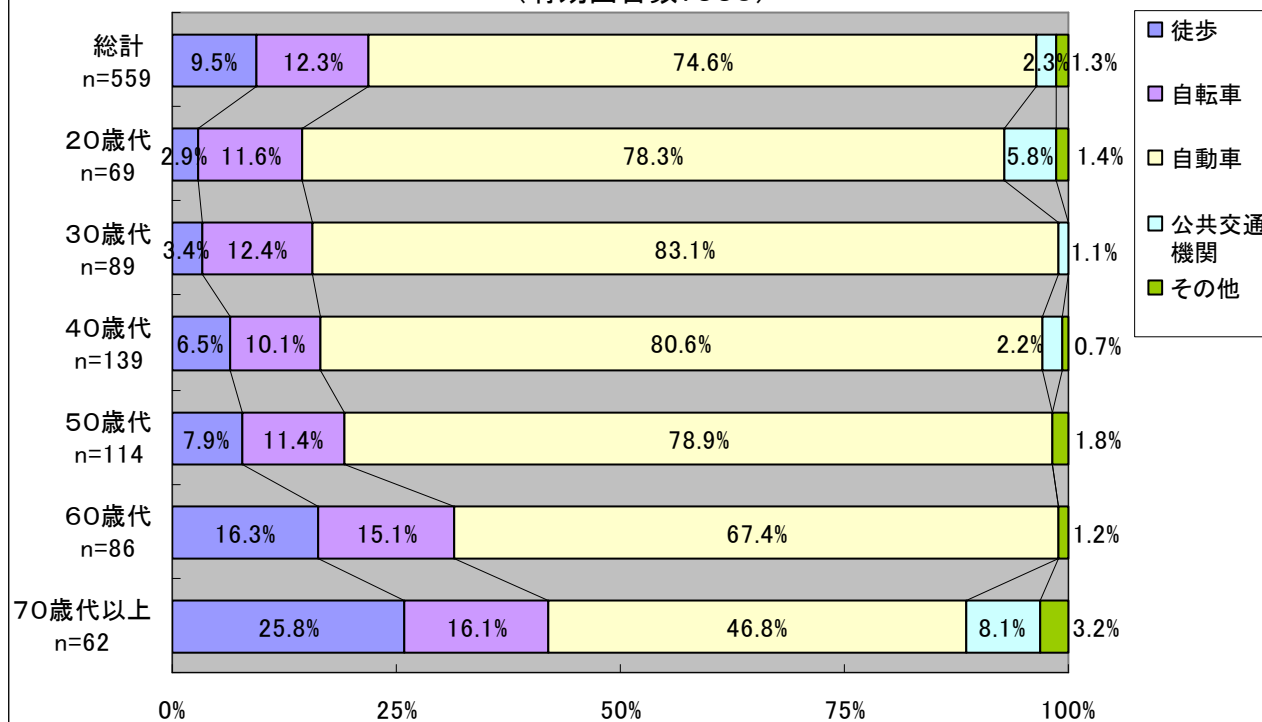


図2-22 スポーツ・運動施設を利用する際の交通手段と年齢のクロス集計
(有効回答数: 559)



<考察>

全体として交通手段としては「自動車」による移動が最も多く、「公共交通機関」の割合は低くなっています。

居住地の別からみても、全体として「自動車」の利用が多くなっており、中でも明祥・安城南中学区の割合が高くなっています。安城北・篠目中学区では、「自転車」の利用率が高く、桜井・安城西・東山中学校区では「徒歩」が多い傾向にあります。

これらのことから、市内スポーツ施設の「公共交通機関」でのアクセスは不便とされていることが読み取れます。

年齢からみると、年齢が上がるにつれて「徒歩」や「自転車」の割合が高くなっています。

このことから、市民の多くは「徒歩」や「自転車」で行ける範囲内でスポーツ・運動を行っていると考えられます。「公共交通機関」の利用も20・70歳代以上で少ないながらも見受けられます。

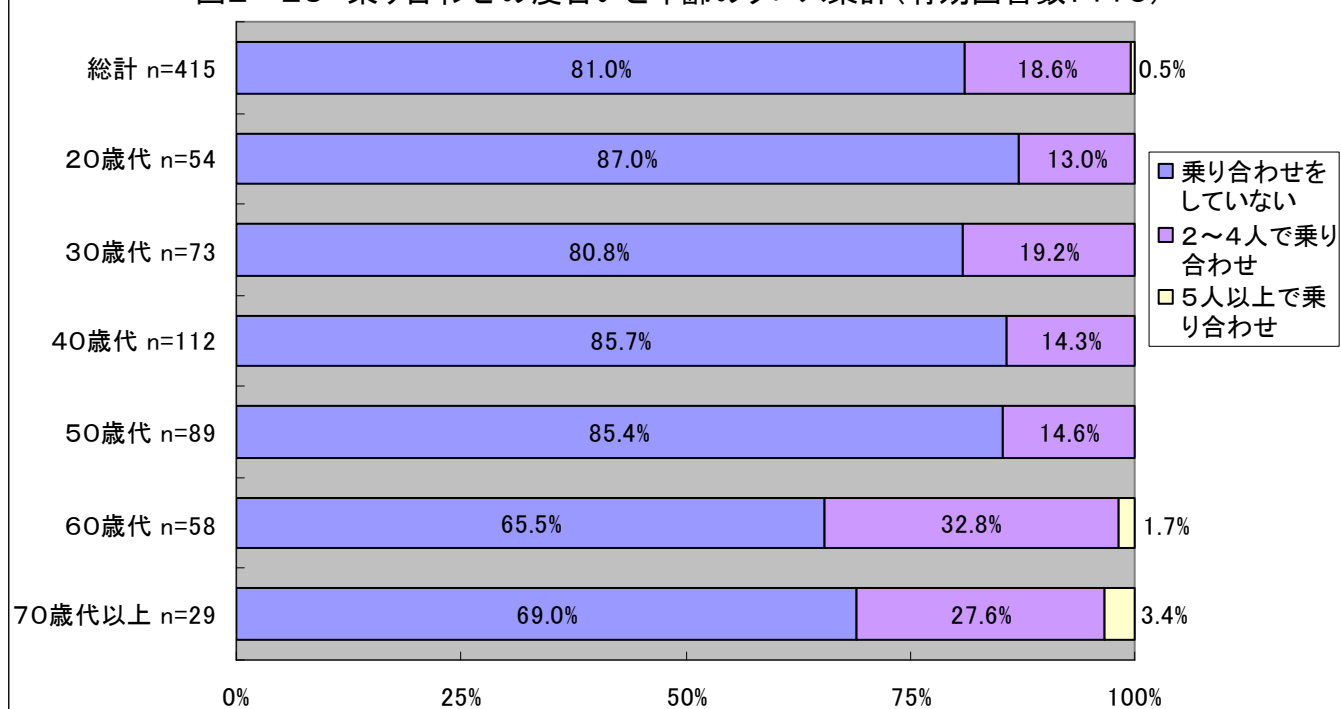
問10：問9で交通手段で「自動車」を選んだ方にお尋ねします。あなたはスポーツ施設に向かう際、いつも乗り合わせで行っていますか。

- ・「乗り合わせしていない」との回答者が80.6パーセントに比べ「2～4人で乗り合わせ」は18.4パーセント「5人以上で乗り合わせ」は0.5パーセントと低くなっています。

表2-16 乗り合わせの人数（単数回答 有効回答数：417）

No.		件数(H21)	(全体)%
1	乗り合わせをしていない	336	80.6%
2	2～4人で乗り合わせ	77	18.4%
3	5人以上で乗り合わせ	2	0.5%
	無回答	2	0.5%
サンプル数(%ベース)		417	100.0%

図2-23 乗り合わせの度合いと年齢のクロス集計(有効回答数:415)



＜考察＞

今回の調査では乗り合わせする人の比率自体も低く、乗り合わせの場合でも「2～4人で乗り合わせ」となっています。

交通手段の割合（問9）で見受けられるように公共交通機関での移動の割合も低い
ため、市内のスポーツ・運動施設への移動には公共交通機関が不便で、用品の運搬、
スポーツ・運動後の行動がまちまちであることなどから、多くの人が個人の自動車に
頼り、乗り合わせが普及していないことが伺えます。

年齢からみると、60～70歳代以上の乗り合わせの割合が多くなっています。

市内スポーツ・運動施設の駐車場は大会等と重なると常に混雑しているため、市民
への乗り合わせの啓発・推進を進める必要があります。